

(2) 聾学校(幼稚部)

(様式1)

# フェイスシート

(作成日：平成17年 月 日 学年：幼稚部3歳)

● 氏名・住所等

本人	ふりがな	すずき いちろう	性別	生年月日	平成13年 9月 1日生
	氏名	鈴木 一郎	男	電話番号	- -
	住所	〒 000 - 0000 市.....			
	入所施設	○無 ・ 有			
	主障害	聴覚障害	他の障害	なし	
	診断名	両感音性難聴	療育手帳	なし ( . . 交付)	
	身障手帳	1種2級 (H14. 9. 1交付)	精神障害者保健福祉手帳	( . . 交付)	
保護者	氏名	鈴木 五郎	緊急連絡先	自宅 携帯 (佐藤) - -	
	住所	〒 000 - 0000 市.....			
家族構成	家族構成図		氏名	生年・学年	続柄
	<p>(出生地 札幌)</p>		鈴木 太郎	S15	祖父
			鈴木 花代	S18	祖母
			鈴木 五郎	S45	父
			鈴木 花子	S47	母
			鈴木 一子	H10	長女
			鈴木 一郎	H13 (本校)	本人(長)
			鈴木 二子	H15	次女
在籍校			学校名	北海道 聾学校	担当教諭
	住所	〒000 - 0000 市.....	電話番号	TEL	- -
			FAX	- -	
		寄宿舎入舎	有 ・ ○無		

● 妊娠・出産・発育の様子

胎 生 期	妊娠中の母親の健康状態： <input checked="" type="radio"/> 良・他 妊娠中の病気等： <input checked="" type="radio"/> 無・有(病名 ) 薬の服用状況： <input checked="" type="radio"/> 無・有			・ 妊娠期に気になったこと 特になし	
出 生 期	妊娠期間	43週	出生体重	3450g	・ 医師の診断や出産時に気になったこと 特になし
	分娩	<input checked="" type="radio"/> 普通・逆子・鉗子・吸引・帝王切開・他			
	様子	<input checked="" type="radio"/> 普通・衰弱・仮死・双子・臍帯てん絡・他			
	泣き方	アプガースコア <input checked="" type="radio"/> 良好・他 (A P S )			
	黄疸	<input checked="" type="radio"/> 普通・軽・重	保育器使用	<input checked="" type="radio"/> 無・有(日)	
乳 幼 児 期	首の座り ( 3か月) はいはい ( 8か月) 一人歩き ( 11か月) 人見知り ( 10か月) 指差し ( 12か月) 片言を言う ( 2歳 1か月) おしっこやうんちを予告する ( 1歳10か月) 一人でおしっこ( 2歳 6か月)・うんち ( 2歳10か月) トナなどの簡単な服を一人で着替える ( 3歳)			・ 乳児期、幼児期に気になったこと 音に対してあまり反応がなく、騒音の中 でもよく寝ていた。	

● 療育・教育の状況

幼児期	聾学校3歳児入学(平成 年 月~)	・ 備考(就学の場の変更等) 聾学校乳幼児教育相談に、平成 年 月から平成 年 月まで、週2回通学する。
小学校		
中学校		
高校		

● 医療にかかわる特記事項

<ul style="list-style-type: none"> <li>音の鳴るおもちゃや人の声への反応が弱く、騒音の中でもよく寝ていたもので、聞こえていないのではないかと不安になり、病院の耳鼻咽喉科で診察を受ける。</li> <li>A B R検査の結果、平均聴力 右 dB・左 dB(平成 年 月 日)</li> <li>1歳の時、両感音性難聴と診断される。その後、6か月ごとにA B Rの検査を受ける。</li> </ul>
--

● 特記すべき生育歴及びその他の事項

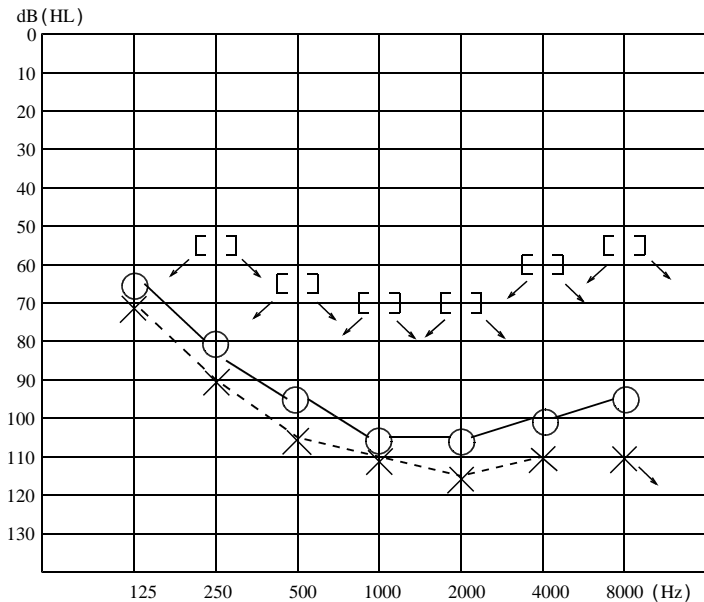
<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>
--

● 聴力及び補聴器等に関する事項

聴力について

平均聴力レベル (dBHL) (平成 年 月 日測定)  
 右 dB 左 dB

オーディオグラム (dBHL) (平成 年 月 日測定) (検査場所、検査者)



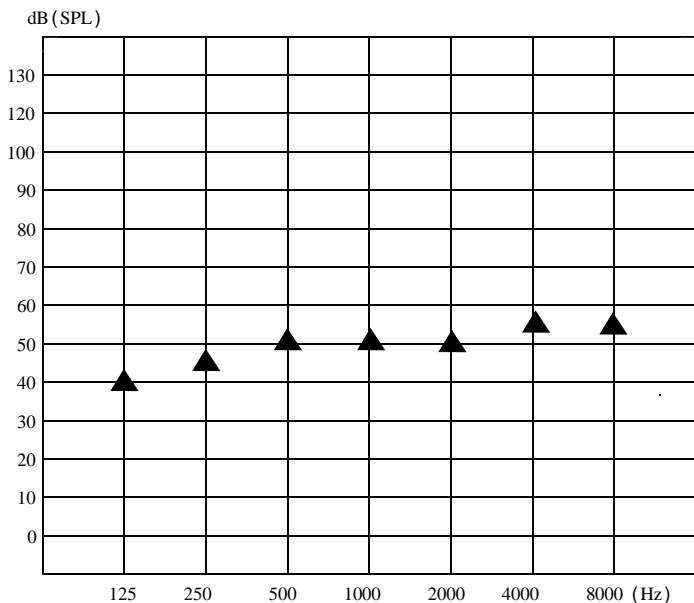
— 気導右耳  
 x--- 気導左耳  
 [ ] 骨導右耳  
 [ ] 骨導左耳  
 スケールアウト

検査の様子

- ・ ブースト使用。
- ・ 上昇法で挙手による反応。
- ・ 右耳から持続音で検査。
- ・ 風邪気味であった。
- ・ 音が出ていないのに聞こえると言ったことがある、曖昧な反応もあった。

補聴器装用閾値 (dB SPL) (平成 年 月 日測定) (検査場所、検査者)

補聴器装用の音場検査



検査の様子

- ・ 上昇法で挙手による反応。
- ・ 両耳で持続音で検査。
- ・ 反応はよく、前回の検査と同じような結果であった。

補聴器について

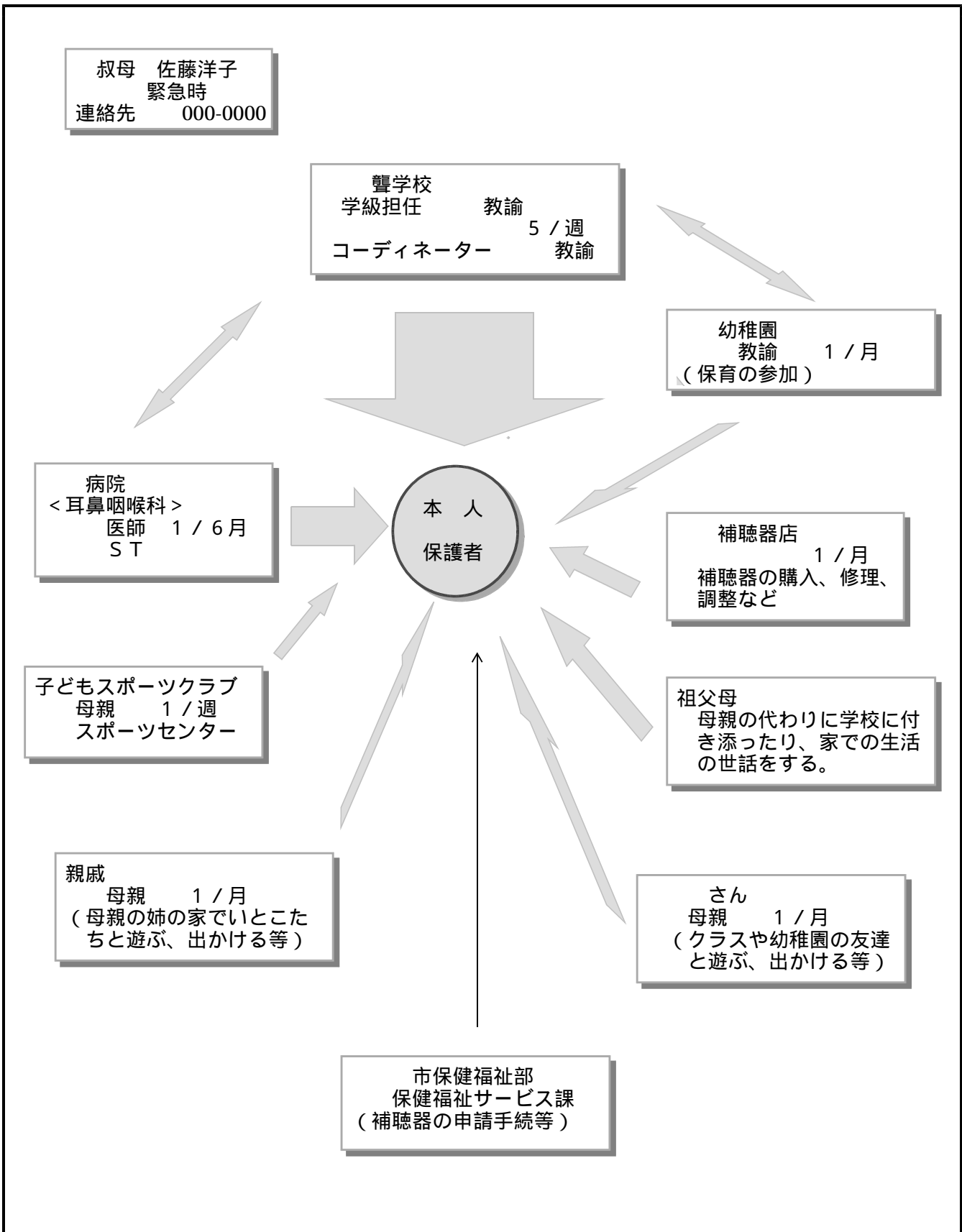
機 種	装 用 月 日	歳 か月
リオン HB - 13 (両耳) アナログ	平成 14 年 10 月 12 日	1 歳 1 か月
センサー P 38 (両耳) デジタル	平成 17 年 5 月 10 日	3 歳 8 か月
	平成 年 月 日	歳 か月

● 特徴

得意なこと、好きなこと、興味・関心の強いこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乗り物のおもちゃで遊ぶことが好きである。</li> <li>・ 絵本を見るのが好きである。</li> <li>・ 子ども向けのテレビ漫画を見るのが好きである。</li> </ul>
苦手なこと、嫌いなこと、さげなければならぬこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 虫（あり、はえ、くもなど）を怖がる。</li> <li>・ 土やぬるぬるする物に触るのを嫌がる。</li> </ul>

身辺処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衣服の着脱は一人でできるが、母親にやってもらうこともある。</li> <li>・ 食事は麺類が好きである。野菜は嫌いでありあまり食べない。</li> <li>・ 排せつは一人でできるが、遊びに夢中になっていたりするともらしてしまうこともある。</li> </ul>																				
健康の保持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 寒暖の状況に合わせて、衣服の調節ができる。</li> <li>・ 手洗い、うがい、歯磨きは一人でできる。</li> <li>・ 屋内外の遊具を使って、遊ぶことができる。</li> </ul>																				
心理的な安定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初めての場所や人には、恥ずかしがってお母さんから離れなかったり、じっと見ていたりすることが多い。</li> <li>・ 嫌なことがあると泣いて逃げる人が多い。</li> </ul>																				
環境の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補聴器を活用して、生活音や身近な人の声を聞き分けることができるようになった。</li> <li>・ 一人遊びが多いが、友達の様子をしばらく見て、楽しそうだったり、何をしているのか分かったりすると一緒に遊ぶ。</li> <li>・ 集団の活動には参加できる。</li> </ul>																				
身体の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はしを使って食事をすることができる。</li> <li>・ はさみを使って紙を切ることができる。</li> <li>・ ボールをけったり、受け取ったりすることができる。</li> <li>・ 手遊びや音楽に合わせて踊ったりするのは好きである。</li> </ul>																				
言葉 コミュニケーション  コミュニケーション手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な人には自分からあいさつをすることができるが、知らない人にはお母さんの後ろに隠れてしまう。</li> <li>・ 自分の言いたいことは身振りや指差し、動作で伝えることが多い。</li> <li>・ お母さんや先生の口形を見て、言葉を模倣するようになった。</li> <li>・ 単語（ママ、ちょうだい、だめなど）は言えるようになってきたが、発音が不明瞭なため、聞き取りにくい。</li> <li>・ 文字や数字に興味をもつようになった。</li> <li>・ コミュニケーション手段は聴覚口話を主としている。</li> </ul>																				
諸検査(発達、知能、学力など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ノンバーバル検査（田中教育研究所編）平成17年2月実施</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>積み木</td> <td>羽め板</td> <td>図形</td> <td>物の記憶</td> <td>数字の記憶</td> <td>マッチング</td> <td>ボタン</td> <td>数概念</td> <td>絵合わせ</td> </tr> <tr> <td>段階点</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">発達指数 87</p>		積み木	羽め板	図形	物の記憶	数字の記憶	マッチング	ボタン	数概念	絵合わせ	段階点	2	6	8	4	2	4	5	4	5
	積み木	羽め板	図形	物の記憶	数字の記憶	マッチング	ボタン	数概念	絵合わせ												
段階点	2	6	8	4	2	4	5	4	5												

● 支援マップ



【凡例】

- : 支援や連携の方向性を表す。
- (thick) : 支援や連携の強さを線の太さで表す

【補足】

子どもスポーツクラブは、幼児グループでインストラクターの指導のもと、体育的な様々な遊びをしている。

(様式2)

# 週間生活スケジュール

【例】

氏名(鈴木一郎)

時間 \ 曜日	月	火	水	木	金	土	日
:							
7:00	起床	起床	起床	起床	起床	起床	起床
7:30	食事	食事	食事	食事	食事	食事	食事
9:00	学校	学校	学校	学校	学校	遊び・テレビ	遊び・テレビ
10:00							
12:00						食事	食事
						遊び・テレビ	外出(公園、買い物等)
14:00							
15:00	遊び・テレビ	遊び・テレビ	遊び・テレビ		遊び・テレビ		
16:00				子どもスポーツクラブ			
18:00	食事	食事	食事	食事	食事	食事	食事
	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴
20:00	絵本・えにつき	絵本・えにつき	絵本・えにつき	絵本・えにつき	絵本・えにつき	絵本・えにつき	絵本・えにつき
21:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝
22:00							
24:00							
:							

週・月・年単位など  
定期的なスケジュール

- ・ 毎週1回は14時～15時まで個人指導日。
- ・ 6か月に1回程度、病院の耳鼻科で聴力検査。
- ・ 月に1回程度、土曜か日曜には母親の姉の家に遊びに行く。
- ・ 月に1回程度、土曜か日曜にはクラスや幼稚園の友達の家や公園で遊ぶ。
- ・ 毎週木曜日は、子どもスポーツクラブに通っている。

その他

- ・ 乳児がいるため、母親が学校に来ることができないときは、祖母が代わりに学校に来る。
- ・ 父親の帰宅が遅く、食事の準備や入浴など祖父母が協力している。

(様式3)

# 個別の教育支援計画

氏名	鈴木 一郎	性別	男	学校名	北海道 聾学校
作成者	担任	作成日	平成 年 月 日 ( . . 修正)		

## ● 本人・保護者の希望

	現在の希望	将来の希望
本人	(聞き取り困難のため保護者が代弁) ・ 楽しいことをたくさんやりたい。	(聞き取り困難のため保護者が代弁) ・ 姉と一緒に地域の小学校に通いたい。
保護者	・ 5歳児になったら、地域の幼稚園に通わせたいので、2学期から時々幼稚園に行かせたい。	・ 姉と一緒に地域の小学校に通わせたい。

## ● 課題の設定の理由

学校では、母親から離れて集団活動に参加することができ、友達に誘われると一緒に遊ぶことができるが、引っ込み思案で人見知りをする事から、自分から周りの人にかかわりを求めることが少ない。そのため、様々な人とかかわりを通して、友達と気持ちを伝え合うことの楽しさや、基本的な語いなどコミュニケーションの基本となる力を身に付けることが必要である。

保護者は将来、地域の小学校への入学を希望しており、幼児期から地域の子どもたちとかかわりや幼稚園の子どもたちとの集団活動の中で、自分から人とかかわり、経験を豊かにし、社会性を身に付けていくことが大切と考える。

これらのことから、以下の課題を設定する。

● 課題・支援の目標

	課 題	支 援 の 目 標 ( 長 期 )
	発達段階に応じた言葉を獲得すること。	学校及び家庭や幼稚園において、学習や生活、遊びの中で、言葉の獲得を図る。
	集団活動の中で、先生や友達の声聞き取ること。	補聴器の点検や調整に心がけ、人や物に関心をもって、自分から音や音声を聞こうとする気持ちや態度を育てる。
	自分から人とかかわることを楽しみ、コミュニケーションする力を育てること。	友達との生活や遊びの中で、人とのかかわりや経験を豊かにし、社会性を養う。
	評 価	



● 支援内容・機関等

支援の目標(短期)	支援内容	支援機関・連絡先	評価時期	評価
学校や家庭、幼稚園において、生活や遊びの中で、発達段階に応じた会話ができる。	・ 自分の気持ちや思いを言葉で表現することを促す。	聾学校 担当 担任 ☎ -	学校の評価時期 の7月、12月、 3月に合わせて行 う。	
	・ 一日の出来事や体験を家族で話し合う機会を設ける。	家庭 担当 母親及び家族 ☎ -	適宜実 施する。	
	・ 自分の気持ちや思いを先生や友達に伝えることを促す。	幼稚園 担当 担任 ☎ -	適宜相 談しなが ら行う。	
人や物に関心をもって、声や音を聞こうとする。	・ 定期的に聴力検査をし、聞こえの状態を把握する。 ・ 補聴器の点検や調整をする。	聾学校 担当 担任 ☎ -	適宜実 施する。	
	・ 定期的に聴力検査をし、聞こえの状態や耳の病気の有無を把握する。	病院 担当 医師 ☎ -	6か月に1回、 あるいは適宜実施 する。	
	・ 補聴器の修理や調整、聞こえの相談、イヤーマールドの作成をする。	補聴器 担当 - ☎ -	適宜実 施する。	
	・ 補聴器、イヤーマールドの申請をする。	市区保健福 祉部保健福祉サービス課 担当 - ☎ -	適宜実 施する。	
	・ 生活や遊びの中で、人の話や音を聞く意欲付けを図る。	聾学校 担当 担任 ☎ -	学校の評価時期 の7月、12月、 3月に合わせて行 う。	
	・ 童謡やテレビ漫画の歌を歌ったり、楽器をならしたり、音楽を楽しむ機会を設ける。	家庭 担当 母親及び家族 ☎ -	適宜実 施する。	
	・ コンサートやイベントに出かけて、様々な音の世界を知る機会を設ける。	クラスの 担当 母親 ☎ -	適宜実 施する。	
友達との生活や遊びの中で、人とのかかわりや経験を広げる。	・ クラスの友達だけでなく、異年齢の友達とも遊ぶ機会を設ける。	聾学校 担当 担任 ☎ -	学校の評価時期 の7月、12月、 3月に合わせて行 う。	
	・ 友達同士誘い合って、集団の活動に取り組むことを促す。	幼稚園 担当 担任 ☎ -	適宜相 談しなが ら行う。	
	・ スポーツクラブの友達とゲームをしたり、体を動かして遊んだりする。	子どもスポーツクラブ 担当 - ☎ -	適宜相 談しなが ら行う。	
	・ 公園や買い物に行く機会を設ける。	家族や親戚 ☎ -	適宜実 施する。	

● 支援者(機関)の連携

項目(会議等)	連携機関(担当者)	内 容	備 考
期 日	コーディネーター		
個別の教育支援計画の策定会議 平成 年 月 日	保護者、担任、 幼稚園 教諭 コーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の教育支援計画についての支援内容及び評価時期等の確認。</li> <li>学校の支援の具体的な物については、個別の指導計画を立案。</li> </ul>	
幼稚園との懇談 平成 年 月 日	保護者、担任、 幼稚園 教諭 コーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> <li>本児の様子(言葉、聴力、人とのかかわりなど)を話し合う。</li> <li>3歳児の時は、月1回程度の保育参加にする。</li> <li>次回からは、担任同士で懇談する。</li> <li>保護者には、保育の様子を報告する。</li> <li>評価と次年度の保育については、年度末の懇談で行う。</li> </ul>	次回は平成 年 月 日の予定。
子どもスポーツクラブの参観 平成 年 月 日	保護者、担任、 さん	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツクラブでの活動の様子(友達とのかかわり、活動への取り組み方など)を参観する。</li> <li>スポーツクラブの担当者と活動内容や本児の様子について懇談する。</li> </ul>	
病院 STと 電話やFAXで連絡 を取る。 平成 年 月 日	担任、 ST	<ul style="list-style-type: none"> <li>聴力検査のデータの説明。</li> <li>発音の明瞭度や言葉の理解の程度の情報交換。</li> </ul>	

(様式4)

# 相談・支援の記録

氏名( 鈴木 一郎 )

項目	時期・期間	内容・結果	担当
相談・支援機関等			
聴力について 病院耳鼻咽喉科	平成14年9月 ～現在まで	<ul style="list-style-type: none"><li>・ A B Rの聴力検査の結果、両感音性難聴と診断。</li><li>・ 聾学校を紹介。</li><li>・ 6か月後の再検査が必要。</li><li>・ 身障手帳、補聴器申請のための診断書。</li></ul>	主治医 医師
身障手帳の交付 市区保健福祉部 保健福祉サービス課	平成14年9月 ～現在まで	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 身障手帳交付申請の相談や手続 (1種2級)</li></ul>	
補聴器の申請 市区保健福祉部 保健福祉サービス課	平成14年9月 ～現在まで	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 補聴器の申請の相談や手続</li></ul>	
補聴器の購入 補聴器	平成14年9月 ～現在まで	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 補聴器の選択、購入手続</li><li>・ 補聴器の修理、調整</li><li>・ イヤーモールドの作成</li></ul>	
乳幼児教育相談 聾学校	平成14年9月 ～平成17年3月まで	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 聴覚障害に配慮した療育を受ける。</li><li>・ 子育て支援を受ける。</li></ul>	教諭
1歳半健診 市区保健センター	平成15年3月	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 健康診断</li><li>・ 聴覚障害による言葉の発達の遅れがある。今後も聾学校での療育を受けることを勧められる。</li></ul>	保健師
3歳児健診 市区保健センター	平成16年9月	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 同上</li></ul>	保健師
幼稚園での保育 幼稚園	平成17年5月 ～現在まで	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 月1回保育を受ける。</li><li>・ 幼稚園の友達との生活や遊びの中で、人とのかかわりや経験を豊かにし、社会性を養うことについて、継続的に支援を受ける。</li></ul>	教諭

\* 相談・支援機関等：相談、治療、訓練、診断、生活支援等の機関などの活用歴